

# 千波湖のプランクトンを調べました

## ～第1回千波湖環境学習会～

「みとちゃん」、「ホーリーくん」、五月晴れの空の下、子どもたちの元気な声が親水デッキに響きました。

水戸市との協働事業で実施している千波湖環境学習会は、今年で10年目を迎えます。

今年度の初回は、5月20日の日曜日「千波湖のプランクトンを調べよう」をテーマに、湖畔の親水デッキを会場として、親子75名の参加のもと開催しました。



みとちゃん・ホーリーくんと記念撮影

当日は、水戸市のマスコット「みとちゃん」と水戸ホーリーホックのマスコット「ホーリーくん」が今年も応援に駆け付けてくれ、子どもたちは大喜びでした。



プランクトンを顕微鏡で観察

参加者が多かったため、子どもたちを二班に分けて学習することにしました。

まず一班がスワンボートに乗りこみ、水質検査で使う千波湖の水を採りました。

もう一班は、簡単なクイズに答えながらプランクトンの説明を聞き、プランクトンネットを使って千波湖の水を顕微鏡で観察したり、pH（水素イオン濃度）を調べました。その後、班を交代しました。

最後に、二班が合流し講師からCOD（化学的酸素要求量）のパックテストによる検査方法の説明を受け、各々が採水した水の検査を行いました。

今回のプランクトンの観察では、アオコの原因となる藍藻類（ミクロキスティス、アナベナ）や動物プランクトン（ミジンコ）などが確認できました。また、千波湖のpHは中性であり、COD値は5～10mg/Lであることがわかりました。

参加者には、千波湖のプランクトン及び水質環境に関心を持っていただけたのではないかと思います。

今年度の千波湖学習会もたくさんの方々の参加をお待ちしています。

最後に、今回、顕微鏡を貸していただいた茨城県霞ヶ浦環境科学センター、飲料をご提供していただいた株式会社ジイエスケー様、株式会社丸太建設様、また、学習会に華を添えていただいた「みとちゃん」と「ホーリーくん」に感謝申し上げます。



スワンボートに乗って採水